

TRADITIO

伝統・文化



芸能

N&



空手



工芸



食

受け継がれるのは
技だけでなく
後世への思い

独自の文化を育んできた沖縄県。衣装や音楽に凝った芸能、近隣諸国との交易から発展した染織物や焼き物といった工芸、沖縄古来の武術が中国の武術と融合して誕生した沖縄空手、医食同源の思想が

根付く沖縄の食など、さまざまな文化が息づいています。沖縄版オペラともいわれる組踊は、2010年にユネスコの無形文化遺産に登録され、国内外で高い評価を受けています。

CULTURE

PERFORMING

芸能



300年の歴史を持つ唱え、音楽、踊りによって構成される歌舞劇「組踊」/二童敵討



組踊/銘苅子



組踊/女物狂



沖縄芝居/泊阿嘉



琉球舞踊



古典音楽



民俗芸能/棒術

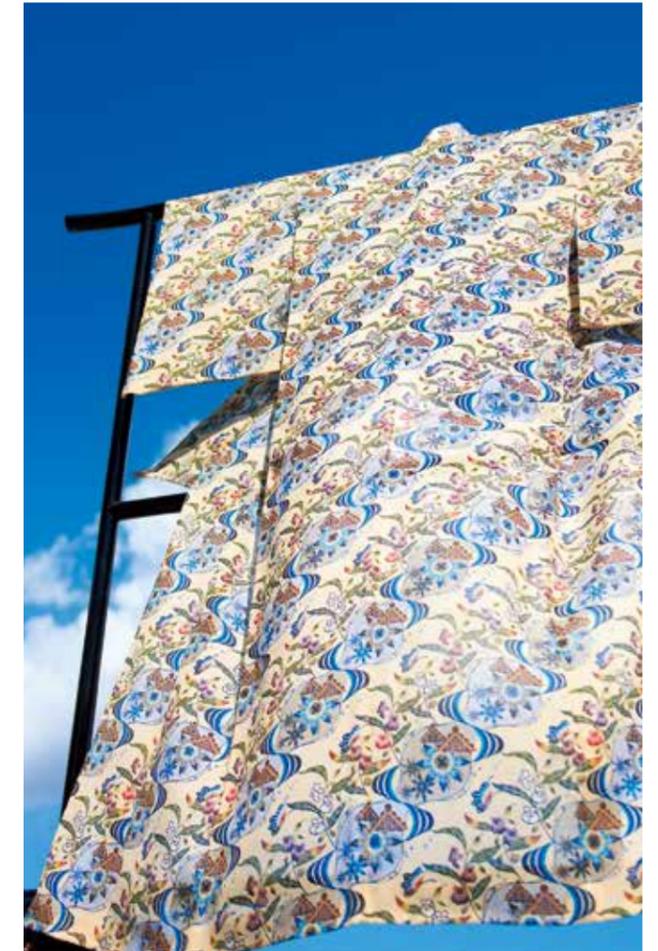
ARTS

CRAFTS

工芸



沖縄の焼き物「やちむん」



伝統的な染色「紅型」



沖縄の弦楽器「三線」



工芸品「琉球ガラス」



沖縄織物のひとつ「首里織」



やちむんの技法で作る「シーサー」



「空手発祥の地・沖縄」を発信する沖縄空手会館



空手発祥の地・沖縄をアピール



ユネスコ無形文化遺産登録を目指す沖縄空手



子どもたちによる演武



沖縄で行われた国際大会



冊封使をもてなした「宮廷料理」



沖縄を代表する果物「パイナップル」



豚足を煮込んだ料理「テビチ」



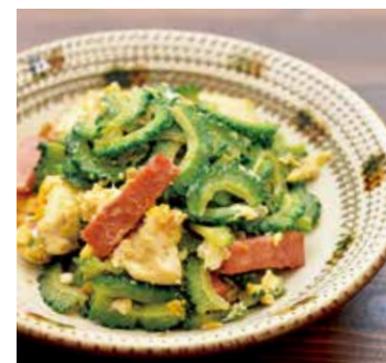
プチプチとした食感が楽しい「海ぶどう」



伝統菓子のひとつ「ちんすこう」



タコスアレンジしたローカルフード「タコライス」



家庭料理「ゴーヤーチャンプルー」



沖縄の太陽で育った「マンゴー」



「紅イモ」を育てる生産者



琉球王国時代から親しまれている地酒「泡盛」



県魚「グルクン(和名:タカサゴ)」



沖縄県民が愛する「沖縄そば」

琉球王国の
歴史と栄華を
感じる場所

15世紀半ばから約450年間、首里城を中心とした琉球王国であった沖縄県。2000年にユネスコの世界遺産に登録された「琉球王国のグスク及び関連遺産群」は、アジアや日本の影響を受けながらも島

国として独自に発展した王国の文化に触れることができます。

また、城跡や建物様式からは、技術の高さだけでなく、歴史的背景や当時の人々の英知を感じることができます。

WORLD HERITAGE

世界遺産

1

首里城跡
【しゅりじょうあと】

琉球国王の居城だった首里城は当時の政治、経済、文化発信の中心地。日本と中国の建築様式を取り入れている。

※令和元年(2019年)10月の火災により、正殿など8棟が焼損。令和8年度(2026年)の再建を目指している。



2 今帰仁城跡
【なきじんじょうあと】
三山時代の北山王の居城。城全体の規模は首里城に次ぐ大きさと、城壁は美しい曲線を描く。



3 座喜味城跡
【ざきみじょうあと】
武将護佐丸により15世紀初期に築城。沖縄最古のアーチ型石造門など精巧な石積み技術が特徴。



4 勝連城跡
【かつれんじょうあと】
階段状に連なる4つの城郭からなり、城内にあるさまざまな遺構から当時の繁栄をうかがわせる。



5 中城城跡
【なかぐすくじょうあと】
座喜味城を築城した護佐丸が城主。中城湾に沿った高台に築城され、城郭からは海を見渡せる。



6 園比屋武御嶽石門
【そのひやうたきいしもん】
琉球王国時代、王家の拜所であった琉球石灰岩の石門。国王の外出の際は道中の安全を祈願した。



7 玉陵
【たまうどうん】
第二尚氏王統の歴代の国王が眠る陵墓。骨を収める墓室が中室、東室、西室と連なっている。



8 識名園
【しきなえん】
日本、中国、沖縄の庭園技術が融合した琉球王家の別邸。中国からの冊封使をもてなした。



9 斎場御嶽
【せーふあうたき】
琉球開闢(かいびやく)の神・アマミキヨが造ったとされる7つの御嶽の1つ。現在も信仰の厚い聖地。

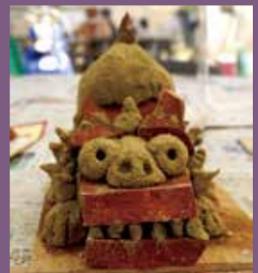
沖縄県内に点在する
5つのグスクと
4つの関連施設が
悠久の歴史を今に伝える



COLUMN コラム

首里城の復興を願った
さまざまなイベント

首里城復興への機運を高めることを目的として、破損した瓦を利活用するためにボランティアによる漆喰(しっくい)はがしや、破損瓦を使った漆喰シーサーづくりが行われています。また、県内最大級の大規模なプロジェクションマッピングや地域と連携した旗頭の演舞も開催。沖縄県では首里城への思いを形にし、首里城復興をみんなで共有できる場を作っていきます。



五穀豊穰を祈願する
豊年祭

招
豊
年



祭祀・祭り

RITUAL &

FESTIVAL



大漁と航海安全を祈るハーリー



琉球王朝時代の行事を
再現した首里城祭

地域に根付く 伝統的な行事や祭り

沖縄には、地域に伝わる行事や祭りがあり、季節ごとに行われます。祖先を迎える旧盆をはじめ、五穀豊穰や航海安全を祈る祭り、悪疫を追いはらうものなど多種多様で地域色も豊かです。昔ながらの伝統的な祭りを大切に受け継ぐ一方で、華やかな要素を盛り込んだエンターテインメント性の高い祭りも行われるようになり、沖縄県民だけでなく国内外の観光客も魅了しています。



面をつけた来訪神が泥で厄よけをする
宮古島「パートゥ」



五穀豊穡を祈る
多良間島「八月踊り」

先祖や神々に感謝し
地域の繁栄や家族の健康を祈り
演舞を奉納する



子孫繁栄や無病息災を願う那覇大綱挽(綱の大きさは世界一)



迫力のある演舞で
先祖供養をする
伝統芸能「エイサー」



太鼓や三線の演奏に合わせて舞う獅子舞



五穀豊穡、無病息災を祈願する大宜味村「ウングミ(海神祭)」

異なる文化を
受け入れて
さらに発展する

多種多様な文化が融合し、熟成してきた沖縄県。時代ごとに異文化の良いものを受け入れて、オリジナルの文化を形成してきました。世界各国の県系人をはじめ、世界

のウチナーネットワークを基軸とした人的ネットワークを拡大するとともに、観光・経済・文化など様々な分野における交流を推進しています。



外国語で沖縄を案内



伝統工芸を体験する外国人観光客



おきなわ国際協力・交流フェスティバル2020
「おきなわの未来SDGsアクションを作ろう」トークライブ

INTERNATIONAL

国際交流

沖縄にルーツをもつ海外の沖縄県系人が母県である沖縄に集い開催されるイベント「世界のウチナーンチュ大会」。



沖縄に移住し、チーズ店を
経営する外国人店主

EXCHANGE

COLUMN コラム

世界のウチナーンチュの日

2016年に行われた「第6回世界のウチナーンチュ大会」において、10月30日を「世界のウチナーンチュの日」に制定し、毎年、沖縄県内をはじめ、世界で様々なイベントや取組が行われています。

